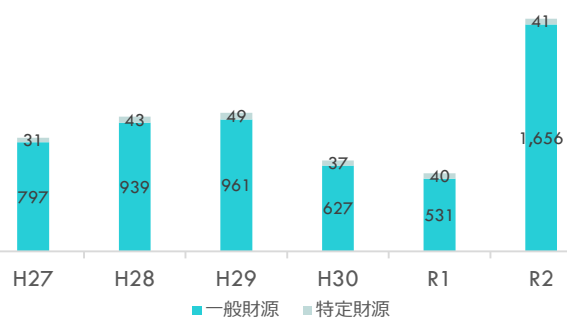
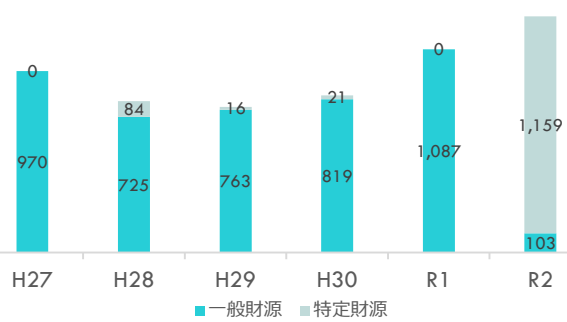


小中一貫教育課、教育振興課

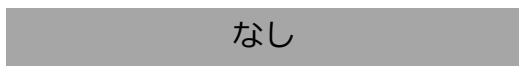
経常的経費の財源(万円)



臨時的経費の財源(万円)



普通建設事業費の財源(万円)



現状と課題

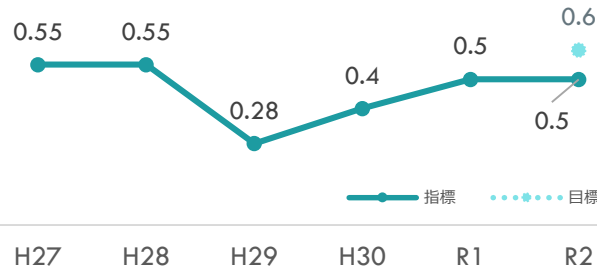
設立当初は地場産業を支える勤労青年のための学校という役割を担っていましたが、近年は、不登校であった生徒や中途退学した生徒が、自分のペースにあった学校として、リスタートする割合が増えています。将来の自立に向け、多様な子どもたちの選択肢の一つとしての新たな役割を担っています。

しかし、近年、入学する生徒が減少する傾向にあることから、特色ある定時制高校として教育課程の編成等を行い、生徒の新たなニーズに対応する必要があります。また、入学した生徒が卒業する割合は現状値で82%であり、途中で高校生活を断念する割合が高い傾向にあることから、生徒に高校の意義を理解させる取り組みとともに、魅力ある学校づくりが課題となっています。

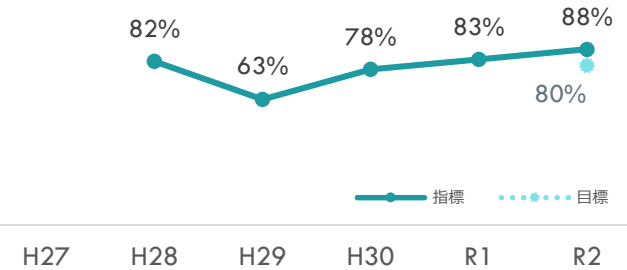
また、雇用状況の変化から、卒業時に進学や正規就職が決まっている割合が現状値で66.7%と、以前に比べ改善してきていますが、より生徒の希望に応じた進路選択が可能になるよう、進路指導をはじめとする相談体制も充実させていく必要があります。

成果指標

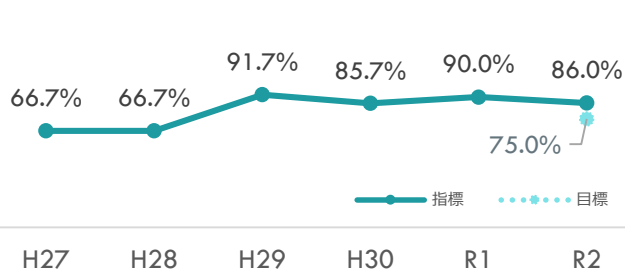
入学試験の志願倍率 (倍)



入学時の生徒が卒業する割合 (%)



進路決定の割合 ((進学+正規就職者) / 卒業者) (%)



指標の説明・・・

卒業する割合が上がり、進路決定の割合が向上すれば、入学志願者数も増加し、片上高校の役割も大きくなります。今後の片上高校の方向性を示す上で、市民から見てわかりやすい指標として上記3項目を設定しています。

課題に対する主な取組

課題	課題に対する主な取組	概要	臨経区分	予算執行(万円)	特定財源(万円)	アウトプット(どのくらいの事業や取組を行ったか)	アウトカム(どれだけの成果が得られたか)
魅力ある学校づくり	就労する力、人間関係づくりの力を育成	取組充実に向けた人的支援		1,035万円	-	7人配置	入学時の生徒が卒業する割合88% 卒業時の進路決定の割合86%

施策の評価

一次評価者	役職	教育振興課長 小中一貫教育課長	<p>県費職員に加え市費職員7人を加配することにより、感染症拡大防止の観点から中止した取組もあるが、個別面談の充実によるアルバイトの奨励や資格取得の促進、ソーシャルスキルトレーニングの実施など、魅力化の取組を実施することができた。</p>
	氏名	草加 浩一 岩井 典昭	
二次評価者	役職	教育部長	<p>近年、入学生の減少傾向にある中、令和2年度は7人の市費職員を配置し、個別面談等にも注力するなど特色を持った魅力ある学校づくりに貢献することができた。本校は、東備地域唯一の夜間定時制高校であり、その果たす役割は、多様な子どもたちの選択肢の一つとして大きくなってきている。今後も、地域の魅力化と合わせ、特色を持った魅力ある学校づくりに努め、生徒の希望に応じた進路選択の実現がより可能となるよう相談体制等の充実が重要である。</p>
	氏名	石原 史章	